

2016年3月期 第3四半期連結業績概要 2016年3月期 通期見通しについて

執行役員
山西 哲司

- ◆売上高及び営業利益は、第3四半期、9ヶ月累計で過去最高を更新。第3四半期の営業利益率は、全社ベースで10%。
- ◆受動部品及びフィルム応用製品は、第3四半期、9ヶ月累計とも営業利益が過去最高を達成。
- ◆2016年3月期のHDD（ハードディスク）市場 ※当社推定
前回推定：約4.63億台
今回推定：約4.52億台
- ◆成長に向けた施策（公表済み案件）
 - ・ハッチンソンテクノロジー社の買収（HDD用サスペンション事業）
 - ・マイクロナス社の買収（センサ事業）
 - ・クアルコム社と業務提携ならびに合併設立（高周波部品事業）
 - ・ルネサス子会社の鶴岡工場の譲受（薄膜部品事業）
 - ・トライジェンスセミコンダクター社との協業（SESUB事業）

2016年3月期 第3四半期（四半期）実績



連結売上高は3,017億円、営業利益は303億円

(億円)	2015年3月期 第3四半期実績	2016年3月期 第3四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	3,004	3,017	13	0.4
営業利益	252	303	51	20.2
営業利益率	8.4%	10.0%	+1.6 pt	-
税引前利益	222	299	77	34.7
当期純利益	164	249	85	51.8
1株当たり利益(円)	130.24	197.83	-	-
為替	対ドルレート(円)	114.25	121.41	6.3%の円安
	対ユーロレート(円)	142.79	133.05	6.8%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約152億円の増収 営業利益：約41億円の増益			

※為替感応度（1円の変動による影響度）

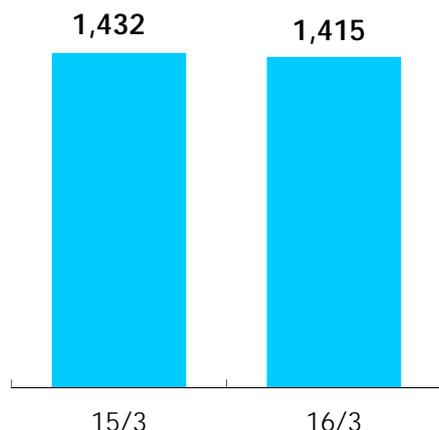
・米ドル：売上＝約50億円、営業利益＝約14億円

第3四半期各事業の状況（受動部品事業）

売上高 1,415億円（前年同期比1.2%減）
営業利益 175億円（前年同期比53.5%増）

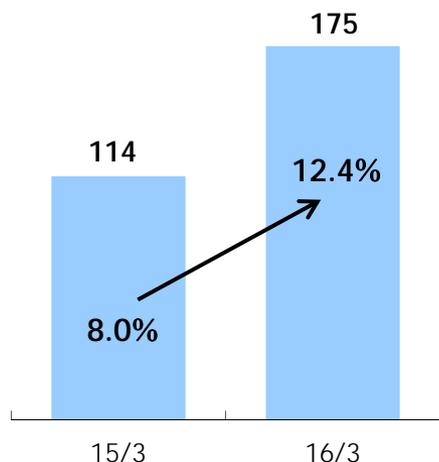
売上高

（億円）



営業利益（営業利益率）

（億円）



●セラミックコンデンサ

- 自動車市場向け販売が堅調に推移したものの、産業機器市場向け販売が減少したことにより、売上は前年同期横ばい。

●インダクティブデバイス

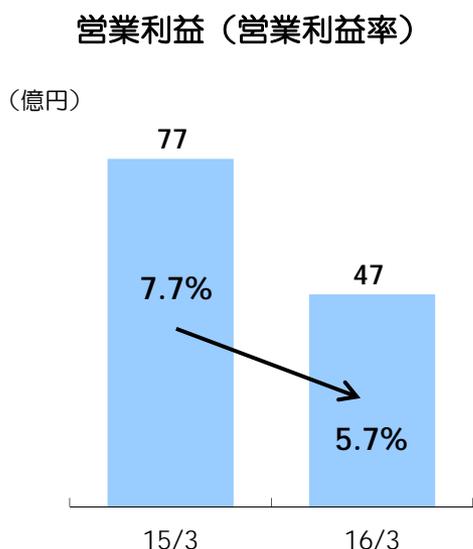
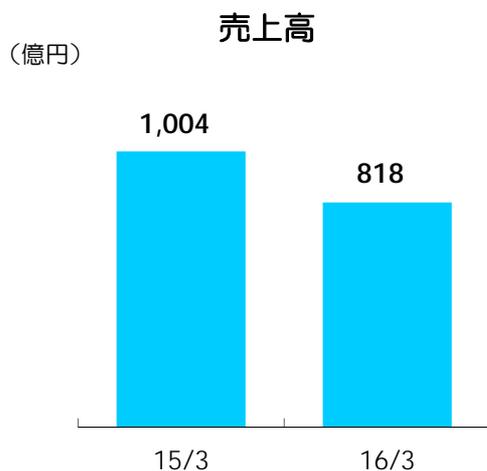
- 自動車の電装化により、自動車向け販売は増加したものの、ICT市場向け、産機機器市場向けの販売が減少した結果、売上は前年同期で横ばい。

●高周波部品

- スマホ向けディスクリート製品の販売が好調に推移した一方、Wi-Fiモジュールの販売が減少した結果、売上は前年同期横ばい。
- 利益率は、生産性改善効果や品種構成の良化により前年同期より大幅に改善。

●圧電材料部品

- カメラモジュール用OISの販売が拡大し、売上は前年同期より増加。



売上高 818億円（前年同期比18.5%減）
 営業利益 47億円（前年同期比39.0%減）

●記録デバイス（HDDヘッド）

- ・出荷数量は前年同期より大幅に減少。

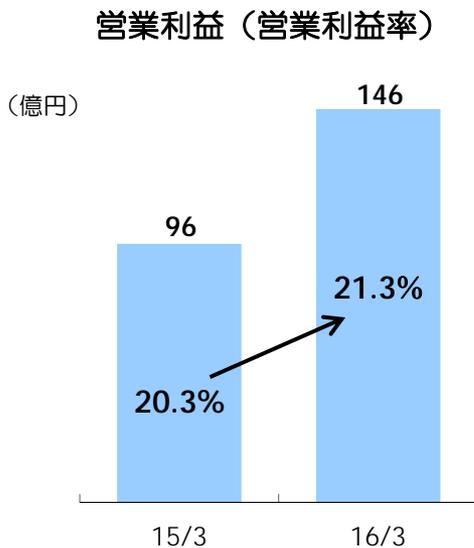
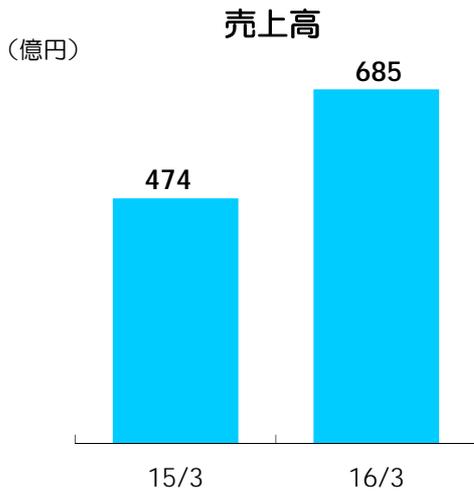
●マグネット

- ・ HDD市場向け販売減に加え、原油安や中国経済の減速により、自動車（xEV*）及び産業機器市場向けの販売も減少。

●電源

- ・ 半導体製造装置、計測機器等の産業機器市場向け販売は引き続き堅調に推移

*xEV：EV, HEV, PHEV



売上高 685億円（前年同期比44.5%増）
 営業利益 146億円（前年同期比52.1%増）

● エナジーデバイス（二次電池）

- ・ 前年同期比増収増益。
- ・ 主要顧客でのシェアアップと顧客ポートフォリオの拡大。
- ・ ドローン等スマートフォン以外のアプリケーションも拡大。

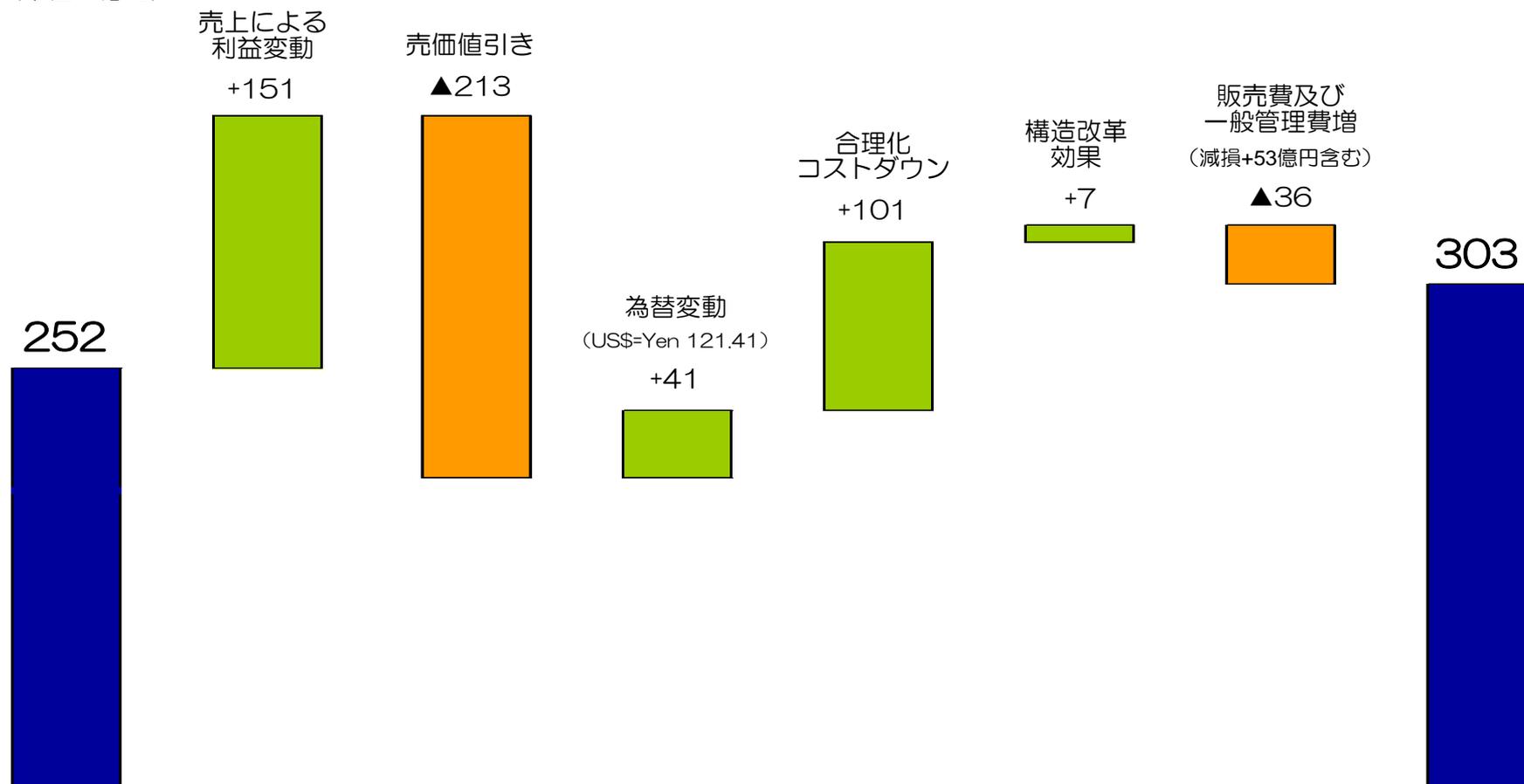
第3四半期営業利益増減分析

2015年3月期
第3四半期
252億円

営業利益 + 51億円

2016年3月期
第3四半期
303億円

(単位：億円)



(億円)		2015年3月期 第3四半期 (A)	2016年3月期 第2四半期 (B)	2016年3月期 第3四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	375	395	364	△ 11	△ 2.9	△ 31	△ 7.8
	インダクティブデバイス	381	386	374	△ 7	△ 1.8	△ 12	△ 3.1
	その他受動部品	676	721	677	1	0.1	△ 44	△ 6.1
	受動部品合計	1,432	1,502	1,415	△ 17	△ 1.2	△ 87	△ 5.8
	記録デバイス	751	607	585	△ 166	△ 22.1	△ 22	△ 3.6
	その他磁気応用製品	253	246	233	△ 20	△ 7.9	△ 13	△ 5.3
	磁気応用製品合計	1,004	853	818	△ 186	△ 18.5	△ 35	△ 4.1
	フィルム応用製品合計	474	641	685	211	44.5	44	6.9
	その他	94	86	100	6	6.4	14	16.3
	合計	3,004	3,081	3,017	13	0.4	△ 64	△ 2.1
営業利益	受動部品	114	174	175	61	53.5	1	0.6
	磁気応用製品	77	45	47	△ 30	△ 39.0	2	4.4
	フィルム応用製品	96	116	146	50	52.1	30	25.9
	その他	2	2	△ 1	△ 3	-	△ 3	-
	小計	289	337	367	78	27.0	30	8.9
	全社および消去	△ 38	△ 63	△ 64	△ 26	-	△ 1	-
	合計	251	274	303	52	20.7	29	10.6
営業利益率		8.4%	8.9%	10.0%	+1.6pt	-	+1.1pt	-
為替	対ドルレート (円)	114.25	122.31	121.41				
	対ユーロレート (円)	142.79	136.06	133.05				

連結売上高は8,893億円、営業利益は759億円

(億円)	2015年3月期 第3四半期累計実績	2016年3月期 第3四半期累計実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,027	8,893	866	10.8
営業利益	531	759	228	42.9
営業利益率	6.6%	8.5%	+1.9 pt	-
税引前利益	496	739	243	49.0
当期純利益	345	564	219	63.5
1株当たり利益 (円)	274.43	447.54	-	-
為替	対ドルレート (円)	106.78	121.67	13.9%の円安
	対ユーロレート (円)	140.24	134.42	4.2%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約 940億円の増収 営業利益：約 183億円の増益			

2016年3月期 連結業績予想



期初公表値（4月28日）から変更なし

	(億円)	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 業績予想	業績予想対前期比	
				増減	増減率(%)
売上高		10,826	11,800	974	9.0%
営業利益		725	950	225	31.0%
営業利益率		6.7%	8.1%	+1.4pt	-
当期純利益		494	650	156	31.6%
1株当たり利益(円)		392.78	515.92	-	-
配当金		上期：40円 下期：50円 年間：90円	上期：60円 下期：60円 年間：120円	-	-
為替	対ドルレート	109.84	115.00	-	-
	対ユーロレート	138.88	130.00	-	-

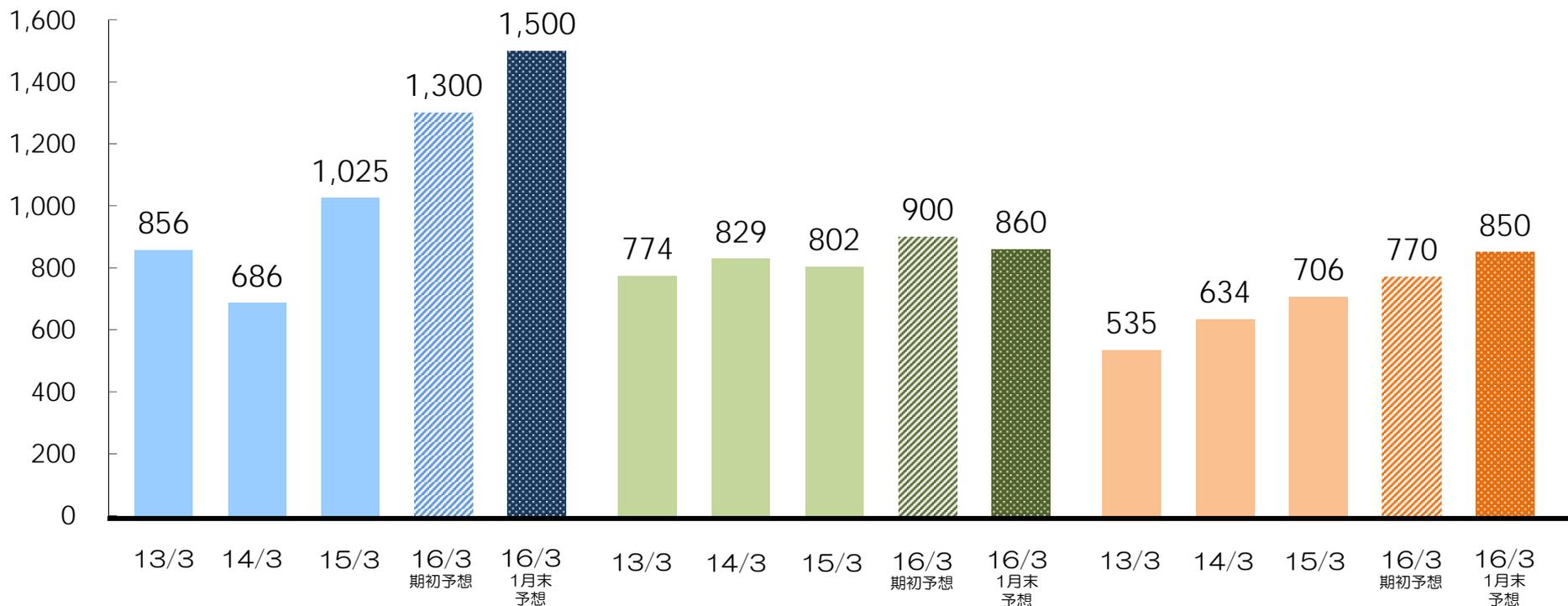
2016年3月期各種費用見通し

固定資産の取得

減価償却費

研究開発費

(億円)



この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2016/3q_1.htm